

坂東総合高校



岩井高校



市内の県立高等学校2校  
「最後の卒業式」と「継承式」

3月1日、県立岩井高校と坂東総合高校で、最後の卒業式と2年前に開校した統合校の坂東清風高校への継承式が行われました。

令和2年4月に両校が統合されて坂東清風高校になった後も、すでに在籍していた2、3年生は岩井高校と坂東総合高校の生徒のままでした。

今年の3月で閉校となった岩井高校と坂東総合高校の最後の卒業生たちは、誇りと寂しさが去来する中、統合校の後輩たちに新たな歴史を託して学びやに別れを告げました。

岩井高校は、昭和2年に岩井実科高等学校校として創立。岩井高等女学校を経て昭和24年に現校名となり、平成20年には岩井西高等学校が統合。今春87人が巣立ち、卒業生は計20,010人。坂東総合高校は、昭和47年に猿島農芸高校として創立。校名変更や学科改正を経て、平成24年に現校名となり今春74人が巣立ち、計4,794人の卒業生を送り出しました。

なお、統合校の坂東清風高校の本校舎は岩井高校とし、農場は坂東総合高校のものが活用されるとともに、校歌は岩井高校の校歌が継承されました。

